



監督・長谷川ひろ子



【現在】
フリーアナウンサー/シンガーソングライター
歌手名 HIROKO 「カラオケの鉄人」配信
元日高市教育委員
健康体操教室・スタジオ mother's 主宰
NPO 法人日本サプリメント臨床研究会・代表理事
ドキュメンタリー映画「いきたひ」監督・脚本・演出
著書「自分磨きは姿勢から」

長谷川ひろ子（はせがわ・ひろこ）・NHK Eテレ「人生レシピ」出演

秋田県に生まれる。地方局のアナウンサーを経て結婚。4児の母。末期がんの夫（薬学博士）を、家族と共に自宅で看病しながら、その姿を撮影。生還を信じて撮影した夫の闘病生活だったが願い叶わず、2009年夫（当時47歳）は他界。家族と共に自宅で看取った。

3年後、大きな心境の変化をきっかけに、まったくの素人ながら映画制作を決意。脚本、ナレーション、編集作曲・演奏・歌等ほとんど全てを自分で担当し、2015年4月に完成させた。

完成したドキュメンタリー映画「いきたひ」は、「これまでの死生観が変わった」「うけいれられず、わかかまりを感じていた肉親の死を、ようやく受け入れることができた」など多くの共感を与える。

観た人の「自分の周りの人にも、是非観てほしい」という熱い思いから 全国で自主上映が続いている。

監督本人の講演とセットでの上映会は評判を呼び1年で100回を超えた。



推薦の言葉



池川クリニック 院長
池川 明

人生は、歓喜に包まれて生まれ、歓喜に包まれて旅立つ、例えるとそのような感じになると思います。胎内記憶を調べている産科医として、子どもたちからいろいろ聞き取りました。すると、私たちの日常は、必ずしも魂の世界にはあてはまらないようです。

あちらの世界が私たちの魂にとっては日常。こちらの世界にくるという事はあちらの世界からみるとこの世に死んでいく事。私たちは、大変な思いをする世界を選んでわざわざ生まれることを決めてきたわけですから生まれる時に喜びで包まれていたいと思う気持ちがあるという事は、どなたも否定はしないでしょ。

また、こちらの世界からあちらの世界への旅立ちとは通常は死んでいく悲しい現象と考えますがあちらの世界からみたら、この世の死はあの世に生まれる事。その時に大なる喜びに包まれてこの世を送り出されてあちらの世界に迎えてもらおうと思いませんか？

この「いきたひ」という映画は、死は悲しいと感じる現生の感覚と違って、生きていることは素晴らしい、死での別れも素晴らしいと思える映画です。こちらの世界に生まれる、あちらの世界に旅立つのは、魂のエネルギーが光（見えないもの）から物質に、物質から光に転換するだけだ、という仕組みをこの映画を通して感じることができれば私たちの死への畏れは今私たちがここに生きていること、そして旅立つ人の生きてきた人生への感謝に代わってしょう。



○託児はありません。別室で同時刻からテレビモニター上映いたします。（事前に申し込み下さい。）

○「いきたひ」上映&twin 下関 Facebookもチェック  

チケット最新情報や、新着情報をお知らせいたします。問合せにもご利用下さい。

主催：「いきたひ」上映下関実行委員会 担当：倉田/北村

住所：〒750-1163 下関市清末千房 3-3-8

携帯：090-5694-9899

gmail: ikitahi.shimonoseki@gmail.com

DREAM SHIP

（生涯学習プラザ 下関市立中央図書館）

〒750-0016 下関市細江町 3-1-1

下関駅より徒歩 15分

バス「細江町バス停」下車徒歩 5分

地下駐車場 80台

※当館利用時に満車で、市営細江駐車場をご利用いただいたお客様は1時間無料券を1枚お渡しいたします。細江駐車場の駐車券をお持ちいただき生涯学習プラザ1階「総合案内窓口」の係員へご提示ください。

